学校番号	３００７

令和８年度　工業科（ファッション工学科）

教科	工業	科目	色彩科学Ⅰ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	わかる色彩検定３級						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

色の配色法を学びながら、「色」の表し方などの基礎知識、色の心理的効果、配色(色の組み合わせ)を考えるときに便利な色彩体系である「PCCS」について学習します。カラーカードを使った配色演習で色を見分ける力もつきますので、日常生活や趣味に十分生かすことができます。また、ファッションの色彩知識を基礎として身につけることにより、個人のスキルは企業全体のスキルとなり、業務の効率や質の向上に少なからず影響を与えます。ファッション業界の共通認識としてさまざまな仕事にいかすことができます。

2　学習の到達目標

色に関する基礎理論の学習を通じて、カラーコーディネート、色彩管理の基礎知識と技術を習得させ、実際に活用し応用する能力と態度を育てる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	色の分類法、混色等を正しく理解している。配色技法の活用、分類を正しく使用できる。	日常生活で使われる身の回りの配色について比較検討が行える。	色の仕組みや使用方法に興味を抱き、自ら、配色を考案することができる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	色の本質	（1）光の性質 （2）物体の性質 （3）目の働き	a:光の性質や目の仕組みを理解している。 b:色の見え方について理解している。	定期考査	小テスト	提出ノート
	色の分類	（1）色の三属性 （2）トーン （3）色立体 （4）表色系	a:色の三属性やトーン等の色の性質について理解している。 b:色の性質に沿って、色を分類することができる。 c:色の分類について、自らの考えを述べることができる。	定期考査	小テスト 配色テスト	提出ノート レポート
2学期	色名	（1）色の表示 （2）色の名前	a:慣用色名を理解している。 b:色見本を見て、色名を答え、系統を分類することができる。	定期考査	小テスト	提出ノート
	混色	（1）減法混色 （2）加法混色 （3）混色の利用	a:混色方法について理解している。 b:それぞれの混色方法を分類することができる。 c:実際に身の回りに使われている混色を自ら、考えることができる。	定期考査	小テスト 混色テスト	提出ノート レポート
	色の心理的効果	（1）色彩の影響 （2）色の連想と象徴	a:色によって色のイメージができる。 b:色のイメージを使い分けることができる。	定期考査	小テスト	提出ノート レポート
	色の見え方	（1）色の対比 （2）色の同化 （3）その他の色の見え方	a:対比と同化について理解している。 b:対比と同化が与える影響について考えることができる。 c:身の回りの色の現象に置き換えて自ら答えることができる。	定期考査	小テスト	提出ノート
3学期	配色	（1）色彩調和 （2）配色技法	a:色の配色技法について理解している。 b:配色を事柄によって変化することがきる。 c:学んだことを活かし、デザイン画を自ら、応用することができる。	定期考査	小テスト	提出ノート デザイン画

	色 彩 効 果	（1）色彩と構成 （2）色彩の働き （3）カラーコーディネーション	a:コーディネートについて理解している。 b:色彩構成を事柄によって変化することがきる。 c:学んだことを活かし、デザイン画を自ら､応用することができる。	定期考査	小テスト	提出ノート デザイン画

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度